

## 平成 24 年度東海・北陸地区国立高等専門学校技術職員研修会報告

技術室 実習工場班 船本 和重  
物理化学系班 牛田 敬子

### 1. 目的

この研修は、東海・北陸地区の国立高等専門学校に勤務する技術職員に対して、その職務に必要な知識を修得させるとともに相互啓発の機会を与えることにより技術職員の資質向上を図ることを目的とする。

### 2. 実施日

平成 24 年 8 月 1 日 (水) ～ 8 月 3 日 (金)

### 3. 主催

東海・北陸地区国立高等専門学校

### 4. 会場

鳥羽商船高等専門学校

### 5. 研修内容

8/1 (水) 開講式・オリエンテーション

1. 特別講義 冷凍空調

講師：鳥羽商船高専 校長 藤田 稔彦

2. 講義 1 人とロボットのコミュニケーション

講師：鳥羽商船高専 テクノセンター長 山下 晃司

3. 練習船見学

8/2 (木)

4. 講義実習 ウインドカー用風車の最適設計と製作

講師：鳥羽商船高専 商船学科機関コース 渡辺 幸夫

5. 企業見学 美和ロック (株) 玉城工場

8/3 (金)

6. 特別講演 鳥羽商船高専における技術職員の組織化について

講師：鳥羽商船高専 商船学科 前センター長 佐藤 宗男

7. 講義 2 画像処理

講師：鳥羽商船高専 制御情報工学科

8. 発表・討議 受講者各自担当実験実習紹介 総括・閉講式

## 6. 所感

(船本)

本校技術職員に採用されて 20 年の月日が経過し、技術職員業務の創意工夫の重要性を改めて実感した。

研修内容は、空調の講義、人とロボットのコミュニケーションやウインドカー用風車の製作、技術職員の組織化の変遷、画像処理の講義など様々なものが行われた。

なかでも最終日の受講者各自の「担当実験実習紹介」の発表は、他高専の方々の実験実習の創意工夫談が聞いて大変参考になった。

自分自身の拙さと発表内容の希薄さに恥ずかしくなった。

この研修に参加して、研修目的にある必要な知識の修得、相互啓発の機会を与えられ、資質向上に繋がったことになるように努力しなければならない。

(牛田)

研修会は講義や実習、工場見学等様々なプログラムがあり、普段では経験できないような貴重な体験ができた。また、他高専の技術職員の方と情報交換もでき、今後の業務への参考になるような話も聞くことができた。

講義実習ではウインドカーを製作したが、その時の講義の進め方や作業中のアドバイスの方法は今後の実験の進め方の参考になった。教えてもらう側として実習に参加したことで、作業中にどのようなことをどのような方法で教えてもらいたいかなど学生の立場に立って考えることができた。

担当実験実習紹介の発表では他の受講者の方の発表内容だけでなく、スライドの作り方や話し方等も参考になった。

この研修会で学んだ様々なことを今後の業務に活かしていきたいと思う。